



長野原町教育委員会だより



発行 長野原町教育委員会 教育課

電話 0279-82-2029

令和5年9月25日 第13号

第8回学校統合準備委員会を開催しました

令和5年8月29日（火）に@長野原（住民総合センター大ホール）で今年度1回目の学校統合準備委員会を開催しました。

今年4月に中学校が統合し、いよいよ最終段階となる応桑小学校と北軽井沢小学校の統合に向けて関係者と協議をしながら準備を進めています。

来年4月に開校予定の浅間小学校は、全校で約90名となる予定です。子どもたちが、統合して良かったと思える学校にするために、保護者の皆さまをはじめ、地域の方々のご理解、ご協力をお願いいたします。

下記は令和3年3月22日の準備委員会での決定事項です。

統合後の使用校舎「西中学校」、校名「浅間小学校」

R5 学校統合準備委員会委員

黒岩 巧	議会議長	青木 清	中央こども園長
富澤 重男	議会副議長	中島 透	応桑こども園長
牧山 明	議会議員	張山 幸仁	中央小学校PTA会長
浅沼 克行	議会議員	黒岩 隆嗣	応桑小学校PTA会長
入澤 信夫	議会議員	重原 康男	北軽井沢小学校PTA会長
星河 明彦	議会議員	相原 啓一郎	長野原中学校PTA会長
萩原 広美	議会議員	唐沢 寿和	中央こども園PTA会長
土屋 匡	議会議員	小金澤 路彦	応桑こども園PTA会長
湯本 宗一	議会議員	篠原 正洋	川原畑区長
杉崎 能久	議会議員	樋田 耕弥	川原湯区長
小林 敦子	教育長	金子 正男	横壁区長
今井 晴美	教育長職務代理者	渡 一彦	林区長
星野 由美子	教育委員	宮崎 健一	長野原区長
吉崎 一紀	教育委員	湯本 茂	大津区長
秋山 雅弘	教育委員	山口 義秋	羽根尾区長
木暮 陽子	中央小学校長	野口 良男	与喜屋区長
塩野谷 喜生	応桑小学校長	藤牧 次男	応桑区長
土屋 学	北軽小学校長	佐藤 雄一	北軽井沢区長
宮崎 岳彦	長野原中学校長		

今年度の学校統合準備委員会の構成は左記のとおりです（敬省略、順不同）。



学校統合準備委員会の様子

協議した事項について

(1) 浅間小学校の統合に向けた準備について

①校舎、校庭の改修工事について・・・12月28日完成予定！
予定どおり進められていることが報告されました。

②校章、校歌、通学方法について

○校章について・・・**決定！**

管内学校の先生にお願いしていた校章デザインが完成し、初披露されました。

これにより学校旗などの制作に入ります。

浅間山を背景に、子どもたちが大きく羽ばたくよう願いを込めて・・・



長野原町立浅間小学校



○校歌について

北軽井沢小学校の校歌を使用することは既に決定しておりましたが、そのまま使用するか、歌詞の一部を変更するか、委員からの意見を総合し、「そのまま使用する」ことで決定しました。

三	二	一
青空のあなたに 白根が雪をかぶってる 北風なんかに負けはしないぞ 働こう きょうも力合わせて 僕もわたしも 浅間っ子	唐松の林に かつこうの声がこだまする 心のふるさと 北軽井沢 遊ぼう きょうも元氣いっぱい 僕もわたしも 浅間っ子	白樺のむこうに 浅間が煙をあげている 広い世界に目を見開いて 学ぼう きょうも未来めざして 僕もわたしも 浅間っ子

校歌

作詞 谷川 俊太郎
作曲 寺島 尚彦



○通学方法について

冒頭、応桑小PTA会長から応桑小の全保護者を対象に実施した通学方法に関する独自アンケートの結果について報告がありました。その内容は「スクールバスの導入を希望するか」との問いに対し、ほぼ全ての保護者が「希望する」又は「できれば希望する」と回答があったということでした。

事務局の考え方と提示内容

今回の統合は両校とも校舎が移転し通学距離や経路がこれまでと変わります。文部科学省の学校設置の手引きや管内小学校の現状も踏まえ提案させていただきました。

提示内容

応桑小学校区はこれまでどおり徒歩或いは自家用車による送迎
北軽井沢小学校区はスクールバス或いは自家用車による送迎

委員からの意見

- *今後ますます人数が少なくなり通学班が組めなくなる。一人で歩かせるのは危険だ。
- *学校区ではなく、浅間小を基準に距離で区分したほうが明確だ。
- *応桑地区でも遠い場所もある。毎年見直されるのか？
- *ある程度歩かないと体力面や発達面が心配。歩くことは大事である。

これらの意見を踏まえ、今回の提示内容に一定の基準を設けさせていただきます。



今後、各校のPTA役員と調整し、保護者説明会を開催します（10月下旬予定）。

Go to Livingston!

新型コロナウイルスの影響で、4年間中止となっていた中学生の海外交流事業を来年度再開します。

しかし、感染症分類が5類に移行したとはいえ、まだまだ油断はできません。併せて円安の影響で旅行代金も高騰しています。

このような状況を加味し、内容の見直しや交流期間の短縮を図り実施する予定です。

内容が決まり次第、中学校を通じて募集要項をお配りします。

